

第3学年社会科学習指導案

日 時：令和3年11月2日（火）5校時
学 級：八幡平市立西根中学校 3年3組
会 場：3年3組教室
指 導 者：木 下 淳

1 単元名

裁判の種類と人権

2 内容のまとめ

C 私たちと政治（2）民主政治と政治参加

3 単元の目標

- (1) 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解する。
国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解する。「知識・技能」
- (2) 対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。「思考、判断、表現」
- (3) 民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に追求しようとする態度を養う。「主体的に学習に取り組む態度」

4 単元について

- (1) 生徒について
 - ア 小学校6年時、「現代社会の仕組みや働きと人々の生活」で、日本の民主政治は日本国憲法の基本的な考え方に基づいていること、立法、行政、司法の三権がそれぞれの役割を果たしていることなど、政治の考え方や仕組みや働きについて学習している。
 - イ 「思考・判断・表現」については、アンケートからも自分の考えがうまく伝わるように文章で記述したり、図や表などの資料を活用したりしてすることが苦手な生徒が多い。この状況を改善するために授業の中で解答に対する根拠を確認することや資料の内容を自分の言葉でまとめること、他の生徒に自分の言葉で説明することが必要である
- (2) 教材について
本単元は、法に基づく公正な裁判によって国民の権利が守られ、社会の秩序が維持されていること、そのため、司法権の独立と法による裁判が憲法で保障されていることについて理解させることがねらいである。その際、抽象的な理解にならないように、裁判官、検察官、弁護士などの具体的な働きを通して理解させる工夫が求められている。また、裁判員制度についても触れ、国民の視点、感覚を反映することで裁判への信頼が高まることを期待して導入したことも理解させることが必要である。裁判について理解を深めることは、国民主権を担う公民として必要な資質を身につけることとなり、将来、社会生活する上で国民としての意欲と態度を育てるためにも重要である。
- (3) 指導について
「思考・判断・表現」に関わって、自分の考えを文章で記述したり、図や表などの資料を活用したりして説明することが苦手な生徒が多い。ペアや小グループによる学習形態を取り入れることで、助け合いながらも自分の考えを述べさせ、他のメンバーと関わり合いを持たせながら、一人一人が主体的に学習に取り組む姿を目指して実践していきたい。

(4) 本校研究との関わり

ア 単元の主体的に学んでいる生徒の具体的な姿

学ぶことに興味や関心を持ち、課題解決のために見通しをもって粘り強く取り組もうとする。また、自己の学習活動を振り返り、次の学習につなげようとする。

イ 対話的な学びの充実について

生徒が探究の過程を主体的に遂行できるようにするためには、より妥当な考えに基づいた見通しをもつことが重要であると考え。そこで、自然事象から情報を読み取ったり、既習事項と関係付けて考えたりする場面や、他者と考えを交流する場面といった対話の場면을授業に位置付けることで、解決を見通した探究活動を行えるようにする。

A【自己との対話】

既習事項や資料を関係付けて、学習課題の解決につなげようとする。また自己の学習を振り返り、自分が分かったことや考えたことを整理して自分の言葉でまとめること。

B【教材との対話】

資料から必要な情報を収集し、課題解決に向けて選択・判断して、分かったことを自分の言葉でまとめること。

C【他者との対話】

資料から考えたこと発表し、共有した情報から課題解決に有効な情報を取捨選択し、自分の考えをまとめること。

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解している。</p> <p>②国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。</p>	<p>①対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について対話的な活動を通じ、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。</p>	<p>①民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に追求・解決しようとしている。</p>

6 指導と評価の計画

本単元「民主政治と政治参加」を、内容のまとまりである3つの小単元と単元のまとめで構成し、それぞれの授業時間数を次のように定めた。

小単元	授業時間数	
1 現代の民主政治	5時間	19時間
2 国の政治の仕組み	9時間	
3 地方自治と私たち	4時間	
単元のまとめ	1時間	

各授業時間の主な学習活動、教師の指導、対話の位置付け、評価規準等は次の表のとおりである。本時に関わりのある小単元2について示す

時	主な学習活動	教師の指導／対話の位置付け	評価規準等
1	・国会の地位と仕組みについて理解する。 ・国会が「国権の最高機関」とされている理由について、民主主義に着目して考察し、適切に表現する。	国会が「国権の最高機関」とされている理由について、民主主義に着目して考察し、適切に表現させる。	主① 思①
2	・国会の主な仕事について、理解する。 ・「衆議院の優越」が定められている理由について、効率と公正に着目して考察し、表現する。	「衆議院の優越」が定められている理由について、効率と公正に着目して考察し、表現させる。	思①
3	・国会と行政との関係について理解する。 ・私たちと国会との関係について、考察し、表現する。	国会の主な仕事について、資料から読み取り理解させる。	知①
4	・内閣の役割と仕組みについて理解する。 ・日本の内閣と国会との関係について、考察し、表現する。	内閣と国会との関係について、考察し、表現させる。	思①
5	・行政における内閣の役割について理解する。 ・行政改革が進められた理由について、縦割り行政などの課題を基に考察し、表現する。	行政改革が進められた理由について、縦割り行政などの課題を基に考察し、表現させる。	思①
6	・私たちの生活における裁判の役割について理解する。 ・司法権の独立の原則が必要な理由について、考察し、表現する。	司法権の独立の原則が必要な理由について、個人の尊重に着目して考察し、表現させる。	思①
7 本時	・裁判には種類、仕組みがあるかについて理解する。 ・裁判によって守られている人権について考察し、表現する。	裁判の種類について資料から読み取り理解させる。 裁判によって守られている人権について、考察し、表現させる。	思①
8	・裁判がより身近で公正なものになるための取り組みについて理解する。 ・裁判員制度や取り調べの可視化が導入された理由について、個人の尊重に着目して考察し、表現する。	裁判員制度や取り調べの可視化が導入された理由について、個人の尊重に着目して考察し、表現させる。	思①
9	・日本の三権相互の関係について理解する。 ・三権分立が採られている理由について考察する。	三権がたがいに抑制し合っている内容について本文や資料の読み取りから理解している。	知① 主①

7 本時の指導（7時間目／小単元9時間）

（1）目標

・裁判の種類やしきみについて理解し、裁判によって守られている人権は何かを考察、表現する。

(2) 展開

段階	生徒の活動	教師の指導／対話の位置づけ／評価等
導入 10分	<p>●ウォーミングアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既習事項の確認する 裁判所の種類について復習する。 <p>●資料の提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民事裁判と刑事裁判についてどのような裁判か知る。 ・弁護士の仕事について確認する。憲法が保障している人権について例を知る。 <p>●課題設定</p>	<p><既習事項の復習、基礎基本の定着></p> <p><既習事項と関連付ける></p> <ul style="list-style-type: none"> ・民事裁判と刑事裁判について確認する。 被疑者・被告人の人権を守る。 <p><問題の内容をつかませる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律による手続きがなければ刑罰を科せられないことについて確認する。 <p><学習課題解決への見通しをもたせる></p>
<p>【学習課題】 裁判ではなぜ人権が保障されているのだろう。</p>		
展開 35分	<p>●情報分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を基にどのような人権が保障されているか調べる。 ・保障されている人権について調べたことをお互いに説明し合う。 <p>●思考・判断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裁判では、なぜ人権が保障されなければならないのか考え、グループでまとめる。 <p>●表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題に対する答えを記入する。 	<p><情報から読み取り事実をあげさせる></p> <ul style="list-style-type: none"> ・被疑者・被告人の人権について調べさせる。 ・令状の必要性や自白の強要の禁止など憲法では被疑者・被告人の人権を保障していることを確認させる。 ・ペアで自分が調べた内容を交流する。 <p><根拠や理由などを問い、情報から考えられることの真偽や可否を判断させる></p> <p>【対話C】資料から考えたこと発表し、共有した情報から課題解決に有効な情報を取捨選択し、自分の考えをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足利事件からなぜ人権が保障されているか考えさせる。 <p><情報を統合して自分の考えを組立てて表現する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・無実の罪を防ぎ、公正な裁判を行うためにも人権は保障されなければならない。
終末 5分	<p>●振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習の振り返りを記入する。 	<p><学びを振り返る視点を与え、学習内容をより確かなものにする></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容を確かなものにするため、本時の学習の振り返りを行う。